

平成 28 年 1 月 11 日 記録：勝田

江工会関東支部役員・連絡員合同新年会記録

開催日時：平成 28 年 1 月 09 日（土）11：30 から 14：45

場 所：千駄ヶ谷インテスビル 11 階「アルコ」

出席者：役員（西村、岸、勝田、千代延勝彦、原田七洋、森岡、森山、吉迫、
塚本、河野、鍛冶、湯浅、小笠原、）

連絡員（福間、盆子原、佐々木富雄、大野、）

顧問（原田光政、笠井、）

オブザーバー（山田清、佐々木、）

- 議 事：1. 総会・懇親会の式次第確認（来賓の確認、司会者等の分担確認）
2. 出席者の確認。未返信の会員へ出席確認（分担）
3. 母校の現状（学科再編：3 学科から 2 学科へ。定員削減：120 名から 80 名に。）

4. 母校への要望・確認事項

- ①由緒ある江津工高を存続させる。
（母校、江工会、PTA、地元等の協力による）
- ②教職員の勤務年数の延長を要望。（現状は約 3 年）。
今以上に根の張った授業・部活の指導ができる。
- ③江工会との強い絆で未来のある江津工高にする。
- ④現在、工業高校に求められるものの追及と対策。
（地元産業界、就職、家業の継承、進学、他）
- ⑤現役生徒のやる気の更なる支援、
入学希望中学生及び社会の期待に沿えるような教育内容。
- ⑥県外生の入学推進（特にスポーツ枠の活用）と推薦入学生の積極的な受入れ。
- ⑦母校の具体的な将来像の表示（スローガン）。
- ⑧寄宿舍の環境整備（男女別棟を含めて）
- ⑨積極的な母校の情報公開（マスコミの利用、HP 等でこまめに）。
- ⑩島根県商工労働部・西部事務所・企業局等との連携。
*石見地方の産業人材育成。
- ⑪江津市（教育委員会等）、商工会議所等との連携。
- ⑫地元産業界等との協調による母校の発展。
- ⑬江津工業団地とのタイアップで地場の活性化。
- ⑭その他

5. 江工会本部への要望・確認事項

- ①母校存続させる為に別組織（リーダーシップのある責任者）を早急に立上げ（今年度内：平成28年3月末）に活動開始すべきと考えます。
（役割分担、江津市内支部中心で、県内、県外支部の支援）
*昨年2月、関東支部総会の事前打合せ（名誉会長、会長、江津支部、関西支部、関東支部、）で第1回目の協議。
- ②母校・県教育委員会と連絡をとり、早急に一步前進して欲しい。
- ③江工会本部は各支部の活動状況を把握するとともに、
本部の活動状況を含めて情報公開。（担当者の選定）
- ④江津市内3支部統合により母校支援活動等の中心となる。
- ⑤休眠中の支部を復活させる指導。
- ⑦母校に対する感謝・謝恩・愛着の気持ちの増進。
- ④建築士会江津支部が江津工高の今後について「シンポジウム」を開催された。パネラーとして江工会の土井会長、江工会江津支部事務長の横田さん江津工高建築科長の難波先生が出席されていました。
*本来、江工会が最初にこのようなシンポジウムを開催すべきだと思います。
*建築士会に感謝いたします。（江工会会員もおられると思います。）
- ⑧母校・江津市共に色々な面で危機感が薄いように思える。
- ⑨TV 放映で「隠岐の島・県外移住高校生で盛り上がり」とありました。
母校（在校生を含む）、江津市（市民）も Welcome の心を見習えば
県外移住高校新入生も江津工高へ来ると考えます。
- ⑩昨年末、本部会長宛に郵送した5支部連名（関西、益田、山口、九州、関東）の提案書 「魅力化委員会の早期立上げ」について：回答未受領。
- ⑪その他

5. その他

- 1) 新聞(毎日、読売)への総会・懇親会記載依頼（済み：勝田）。
- 2) カメラマンの手配： 名川さんへ連絡（済み：勝田）。
- 3) 同封する資料について： 島根県関係を手配済み：90部（勝田）。
- 4) Power point の利用について：(装置：小笠原、資料纏め等：森山、)。
- 5) 白板の手配について(母校関係の掲示)： 3×6を2枚(小笠原)。 2/2